

第32回おらが村の 永岡蘇民祭



昭和63年に金ヶ崎を襲った集中豪雨災害の復興を祈り、平成元年から始まったおらが村の永岡蘇民祭。今年、平成の時代を超え、令和最初の蘇民祭が1月26日に開かれました。12歳から72歳まで43人の下帯姿の男衆が水かけ祭り、蘇民袋争奪戦を繰り広げ、五穀豊穡、無病息災を祈りました。

祭りは、永岡幼稚園児による踊りでスタート。よさこいや餅つきなどで会場を盛り上げた後、いよいよ裸男衆が入場しました。水かけ祭りが始まると、子どもから大人までバケツを手に、勢よく裸男衆に水を浴びせました。蘇民袋争奪戦が始まると、男たちは激しく体をぶつけ、袋を奪い合いました。争奪の末、今年の取り主は過去2回取り主に輝いた佐藤吉規さんが3度目の栄冠に輝きました。佐藤さんは「とてもうれしい。今年は無病息災で取り主らしい生活を送りたい」と喜びをこみしめていました。

写真：たいまつを先頭に永岡地内を練り歩く裸男衆



1必死に袋を奪い合う裸男衆 2唯一小学生で参加した佐藤涼介くん(永岡小6年)が担ぎ上げられ、笑顔でガッツポーズ 3水を浴びる裸男衆 4バケツを手に笑顔をみせる小学生たち 5争奪戦中にも激しく水を浴びる裸男衆 6郷土芸能(永岡清流太鼓)などもまつりを盛り上げる 7第32回おらが村の永岡蘇民祭り主佐藤吉規さん(上永沢第一) 8多くの観客に見守られながら湯気を立ち上げ袋を奪い合う裸男衆